

記号 Legend

活断層

Active Fault Trace



最近数十万年間に、概ね千年から数万年の周期で繰り返し動いてきた跡が地形に現れ、今後も活動を繰り返すと考えられる断層。明確な地形的証拠から位置が特定できるもの。

活断層(位置やや不明確)

Active Fault Trace
(Site indistinct)



活断層のうち、活動の痕跡が侵食や人工的な要因等によって改変されているために、その位置が明確には特定できないもの。

活断層(活撓曲)

Active Flexure



活断層のうち、変位が軟らかい地層内で拡散し、地表には段差ではなくたわみとして現れたもの。たわみの範囲及び傾斜方向を示す。

活断層(伏在部)

Active Fault Trace
(Concealed)



活断層のうち、最新の活動時以降の地層で覆われ、変位を示す地形が直接現れていない部分。

横ずれ

Strike Slip



活断層の相対的な水平方向の変位の向きを矢印で示す。

縦ずれ

Dip Slip



活断層の上位方向の変位の向き。相対的に低下している側に短線を付す。

推定活断層

Presumed Active Fault



地形的な特徴により、活断層の存在が推定されるが、現時点では明確に特定できないもの。または、今後も活動を繰り返すかどうか不明なもの。

地形面の傾動方向

Tilting Surface Direction



地形面が、現在も続いている地殻変動によって傾いている場所。最大傾斜方向で図示。

(記号は都市圏活断層図に準拠)

利用上の注意

1. 活断層とその区分

この図における「活断層」とは、最近数十万年間に約千年から数万年の間隔で繰り返し活動してきた跡が地形に明瞭に現れており、今後も活動を繰り返すと考えられるものをいいます。このうち、風雨による侵食や堆積、また開発の影響などで活断層の位置を明確に表示できない区間は破線で、活動の跡が土砂の下に埋もれてしまっている区間は点線で示しています。

また、活断層の可能性のある地形であるが活断層以外の原因でできたとも説明できるもの、または、今後も活動を繰り返すかどうか明確に判断ができなかったもの、あるいは他の調査結果から地下に活断層の存在が推定されたものは「推定活断層」として表記しました。

2. 未知の活断層の可能性

沖積低地や、扇状地、または埋立地・干拓地などの最近数千年間に形成された地形では、今回の調査で確認できなかった未知の活断層が埋もれている可能性も残されています。

(都市圏活断層図に準拠)

発行 三重県防災危機管理部地震対策室

〒514-8570 津市広明町13番地

TEL059-224-2184 E-mail: jishin@pref.mie.jp